

Ⅲ 平成30年度活動計画について〈協議〉

1. 方針

- (1) 修学旅行の教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化を追究し、より良い形の修学旅行の実施を目指す。
- (2) 連合体輸送の望ましいあり方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。
- (3) 関係機関・団体と連携・協議し、望ましい修学旅行の条件整備を図る。

2. 活動のねらい

平素と異なる環境の中で多様な体験を通して、修学旅行のねらいの達成や生徒の社会性・人間性の育成を図り、感性を育む修学旅行を目指す。

3. 活動の内容

(1) 会議等の日程案

	会議名	予定内容	開催日	時間	会場
総会・研究協議会	総会・第1回	年度計画の審議、決定	6月1日(金)	13:30 ～ 15:30	東京文化会館
	第2回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	10月5日(金)		奈良まほろば館
	第3回	輸送計画の確認・微調整と決定	11月1日(木)		JR東日本東京支社
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2月14日(木)		東京文化会館
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月22日(金)		
研究委員会	第1回	調査研究内容の検討	6月1日(金)	11:00 ～ 12:30	東京文化会館
	第2回	データの分析・考察	10月5日(金)		奈良まほろば館
	第3回	データの分析・考察、まとめ	11月1日(木)		JR東日本東京支社
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月22日(金)		東京文化会館
	第54回研究発表会	実践研究発表等	11月22日(木)	13:30 ～ 16:30	ホテルレイクビュー 水戸
全修協	第35回全国修学旅行研究大会 (全修協提案、実践発表、講演)		7月24日(火)	13:30 ～ 16:30	學士会館
	三地区(関東・東海・近畿)修学旅行委員会連絡会 (修学旅行に関する意見・情報交換)		平成31年 1月24日(木)頃	14:00 ～ 16:00	※昨年は熱海方面

①会議出席

役員代表者会(各県2名、定数11名): 役員、各県委員長(部長)、研究委員長
 総会・研究協議会(各県4名、定数20名): 役員、運営委員、研究委員
 研究委員会(各県2名、定数10名): 研究委員、運営委員1名
 その他政令指定都市校長会(さいたま市、千葉市)から役員1名参加

②県別分担事項一覧(平成30年度～2022年度)

	平成30年度	平成31年度	2020年度	2021年度	2022年度
会長選出県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県
運営委員長	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県
〃副委員長	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県
研究委員長 研究発表県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県

(2) 連合体計画輸送

①平成30年度計画輸送の申込状況

(単位：校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 増減
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	37	5,033	89	12,247	20	1,516	208	33,250	129	20,264	483	72,310	15
B	75	9,009	14	925	3	122	40	5,072	24	2,887	156	18,015	-1
C	1	131	1	46	0	0	47	8,292	41	7,359	90	15,828	-16
D広島	1	159	1	212	3	186	2	355	1	134	8	1,046	3
秋季C	1	136	0	0	0	0	18	3,631	0	0	19	3,767	-1
合計	115	14,468	105	13,430	26	1,824	315	50,600	195	30,644	756	110,966	0
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	3	450	3	450	1
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	4	571	4	571	-4
上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸	0	0	0	0	0	0	1	84	9	1,507	10	1,591	10
合計	0	0	0	0	0	0	1	84	16	2,528	17	2,612	7
総合計	115	14,468	105	13,430	26	1,824	316	50,684	211	33,172	773	113,578	7
対前年	0	-278	-3	-463	-4	-379	5	-460	9	1,202	7	-378	

②コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	D・広島	東北・山形	長野	北陸
5/8～7/9 63日間 72,310名 1日平均1,148名 1日最大1,214名 1日最少1,052名	5/26～6/12 18日間 18,015名 1日平均1,008名 1日最大1,065名 1日最少957名	春 5/8～6/25 49日間 15,828名 1日平均323名 秋 9/10～9/28 17日間 3,767名 1日平均222名	5/15～6/20 8日間 1,046名 1日1校 平均131名	5/22, 29, 30 3日間 450名 1日1校 平均150名	5/15～5/29 4日間 571名 1日1校 平均143名	5/14～6/12 10日間 1,591名 1日1校 平均159名

③平成30年度出発式（関東地区公立中学校連合修学旅行出発式）

ア. 日時—平成30年5月8日（火）午前7時25分～7時35分

イ. 7時47分東京発「のぞみ号」乗車校

さいたま市立原山中学校（235人） さいたま市立城北中学校（182人）

さいたま市立七里中学校（93人） 秩父市立秩父第一中学校（205人）

桶川市立桶川西中学校（168人） 春日部市立大増中学校（98人）

久喜市立鷲宮中学校（97人） 合計 1,078人

※関修委を代表して行田市立忍中学校の篠田校長先生、さいたま市立指扇中学校の青木校長先生にご参加いただき、篠田校長先生にご挨拶頂きました。

④計画輸送の利用校拡大

平成30年度も引き続き、組織・活動への理解を得るため、関修委PR用リーフレットをもとに各学校への啓発に努める。

⑤2020年度修学旅行の計画輸送策定についてのお願い

ア. Aコース希望で、東京近郊の学校は、Cコースの選択もお願いする。Cコースの帰り（東京着）の時間が平成26年度から30分早くなっている。

イ. 各県へBコースの利用のお願い。また、Bコースをより魅力あるものするため、30分早い出発と30分遅い帰着を働きかけている。

ウ. 平成31年度から新たに北海道・北陸新幹線に定期混乗設定が実現。引き続き、東北（山形・秋田）・上越方面の新幹線利用の拡大を図る。

エ. 利用申込みの段階で、東京駅までの継走を明確にする。

オ. 引き続き広島便のPRに努める。また、広島便の利便性を向上させるための改善を働きかけていく。

カ. 申込書への記入—乗車駅・降車駅、継走の利用予定等、丁寧に記入を。

申込人数を正確に記入（現1年生の在籍数）

キ. 東京都、神奈川県中学校長会の専用列車と関修委の専用列車の相互利用の可能性を探り、JRへ働きかけていく。

⑥2020年度修学旅行列車の輸送計画の策定

6月	1日	総会・研究協議会	2020年度輸送計画の大綱決定
	中旬		輸送申込書等配付(各県)
7月	20日	各県申込み締切	2020年度輸送申込み締切(各県)
8月	17日		申込み集計の事務局送付
9月			事務局にて割付原案の作成
10月	5日	第2回研究協議会	2020年度輸送計画原案提案
	中旬		割付原案による確認、調整(各県)
11月	2日	第3回研究協議会	2020年度輸送計画の決定
	27日		2020年度輸送計画発表
2月	7日	JRへの申込締切	各学校、JR輸送申込書を旅行社経由で提出

⑦その他

(3) 調査研究活動

①調査研究の継続と充実

修学旅行の基本調査とテーマに沿った調査研究と発表。

②第54回修学旅行研究発表会の開催

ア. 日時 平成30年11月22日（木） 13時30分～16時30分

イ. 会場 ホテル・レイクビュー水戸（JR常磐線・水戸駅南口から徒歩3分）
茨城県水戸市

ウ. 内容 関修委活動報告、実践研究発表他

③現地研修会の実施

修学旅行の充実のために先生方の現地研修を実施する。

- ア. 金沢市・石川県修学旅行現地研修会－平成 30 年 7 月 29 日（日）～7 月 31 日（火）
金沢市を中心とした歴史と文化、伝統。体験学習と宿泊施設等の見学。
- イ. 伊勢志摩修学旅行現地研修会－平成 30 年 8 月 2 日（木）～8 月 3 日（金）
伊勢志摩鳥羽の歴史と文化、自然の中での教育旅行プログラムの提案と宿泊施設見学。
- ウ. 東北修学旅行現地研修会－平成 30 年 8 月 19 日（日）～8 月 21 日（火）
東北の歴史と文化、自然、体験学習、震災学習、世界遺産等の見学・体験。宿泊施設等の見学。

④修学旅行資料「関西の旅」の利用推進

関東地区公立中学校修学旅行委員会の編集・監修による「関西の旅」の利用促進を図る。各学校の修学旅行のしおりと共に製本する方法も可能であり、併せてPRする。タクシーでの班行動プラン用もあり。

(4) 陳情・要請活動

①財務省・文部科学省への平成 31 年度修学旅行費等の国庫補助金増額陳情

行事	学校種別		30 年度決定額	31 年度要望額	※29 年度決定額
修学旅行	中学校		57,590	57,590	57,590
	小学校		21,490	21,490	21,490
校外学習	中学校	宿泊あり	6,100	6,100	6,100
		宿泊なし	2,270	2,270	2,270
	小学校	宿泊あり	3,620	3,620	3,620
		宿泊なし	1,570	1,570	1,570

②JR への計画輸送に関する改善要望

- ア. 東京駅までの継走列車の乗り入れと継走特急列車の割引を要望していく。
- イ. 各駅の団体客の集合待機場所の確保を要望していく。
- ウ. B コースの出発時間の繰上げ（30 分程度）と東京帰着時間の繰下げ（30 分程度）、それに伴う継走列車の運行を要望していく。
- エ. D コース（広島）の設定時間や乗車定員増、京都帰着時間の選択可能を要望していく。

③その他

(5) 他団体との連携

①公益財団法人全国修学旅行研究協会との連携

第 35 回全国修学旅行研究大会

平成 30 年 7 月 24 日（火） 學士会館

②関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会の参加

平成 31 年 1 月 24 日（木）頃 関東地区予定

③首都圏 3 地区校長会修学旅行委員会連絡会

第 1 回 平成 30 年 6 月 27 日（水） 全日中会館

第 2 回 平成 31 年 2 月 1 日（金） 全日中会館

(6) その他

- ①情報・資料の提供・発信として各研究協議会・発表会等で修学旅行等の最新の資料を提供する。
- ②関修委・全修協のホームページの活用とホームページコンクールの周知により、応募校の増加を図る。
- ③各県事務局とのEメール及び Web ページ活用推進による事務等の効率化とデータ収集の向上を目指す。

4. 予算

(1) 平成 29 年度支出予算案

科 目	費 目	予算額	前年予算額	増・減(△)	摘 要
会 議 費	総会・研究協議会 ・研究委員会	650,000	650,000	0	会場費、交通費
	研究発表会	600,000	600,000	0	会場費、設営費、資料作成費、 反省会費
旅費交通費	事務局交通費	120,200	119,300	900	出張交通費
通信運搬費	通信運搬費	50,000	50,000	0	会議案内、資料送付等郵便・宅急 便料金
印刷製本費	印刷費	300,000	300,000	0	輸送計画関係書類、調査研究関係 印刷物
助 成 費	各県活動運営費	779,800	780,700	△900	各県修学旅行委員会助成金
支出合計		2,500,000	2,500,000	0	

(2) 各県修学旅行委員会(部)への活動助成金

関修委より、各県修学旅行委員会(部)の活動運営費(会議費、郵送・通信費、事務費等)の一部として助成する。なお、各県は助成金の支出報告を毎年度行うものとする。

5. その他

IV その他

各県からの連絡等は、関修委のEメールが便利です。是非、積極的にご利用ください。